

新聞や雑誌が必要か否かということでも考えるには、まず新聞や雑誌に何が書いてあるのかということをおさなければならぬ。ここでは話をわかりやすくするために新聞に絞って考えることにする。さて、新聞には一面や三面記事、政治面などにニュース記事が載っており、事実上のメインコンテンツとなっている。こうした記事はインターネット上のニュース速報で知ることができ、そもそも新聞記事そのものがネット上で公開されていることも多い。新聞が不要だという人の主張の主たる根拠もここだろう。だが新聞にはネットで見ることができない、まだ言えないが、少なくとも意識的に採らなければ知りえないような情報もたくさん載っている。地方面やコラムなどがこれにあたるだろう。新聞を必要だという人はこうした点を理由として挙げるだろう。だが新聞不要派からすれば、これも理由としては弱いと言わざるを得ない。本当に必要な情報ならば自分でネットを調

べればよい。そこまでする気のない情報はそもそも必要のないものなのだから知らなくていい。と。ネットに情報があふれている今の時代、情報の真偽よう性は自分で判断しなくてはならないとはいえ、ほぼ全てのことがネットで知ることができるのだからわざわざ金を払ってまで新聞を読む必要はない。僕は考える。確かに新聞の情報というのは信頼性が高いが、金を払ってまで読むかというて人びとの問題を考え、不要派の立場を述べている。

さて、僕自身が新聞不要派なのは上記の通りだが、新聞を必要という人を否定したりはしない。矢張り書きもろしたか、新聞には電車の中でも読めるという持ち運びのしやすさなどのメリットもあり、コラムなどの豆知識を讀みたいという人はそれはそれでいいと思う。結論。金を払ってでも読みたい人は読めばいいしそこまでする気のない人は読まなければいい。その判断を否定する気はない。